

2023年5月2日

イオン株式会社

「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」の改定について

イオンは2020年6月に発行した「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」の改定を行いました。

本プロトコルは、防疫対策を一時的な取り組みでなく継続的に実行していくことで、防疫が生活の一部となる社会を実現し、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の「安全・安心」な生活を守ることを目的としています。

今回の改定は、これまで蓄積したデータや専門家の知見をもとに実施するものであり、イオンは、本プロトコルの目的を変更することなく、感染拡大の状況により防疫対策の内容を変えていくことで、地域のお客さまや従業員の感染リスク低減に努めてまいります。

【本プロトコル骨子】

・感染予防の守るべき3つの施策

1. 体調管理

従業員の体調管理は、健康な日常を営む上で最も重要なポイントであり、継続して実施致します。また、お客さまが体調を確認出来るよう非接触式体温計等の設置を継続して実施致します。

2. 換気の徹底

空気の滞留を防ぐため従来の換気に加え、サーキュレーターなどを設置することで空気の流れを作ります。また、換気状況を補足するため二酸化炭素濃度計も設置しています。

3. マスク等による感染リスクの低減

お客さまへの不織布マスク着用のお願いは、行いません。然しながら感染拡大時や混雑する場所では、不織布マスク着用をお願いをする場合がございます。

また、従業員にはマスク着用を求めません。なお、着用を希望する従業員の意向は排除いたしません。未来に向けて笑顔でお客さまをお迎えできるよう全従業員で防疫対策を実行してまいります。



イオン
新型コロナウイルス
防疫プロトコル

2020年 6月30日発行
11月11日改定
2022年 6月30日改定
2023年 3月 6日改定
2023年 5月 1日改定

<監修>

医師・医学博士・前世界保健機関（WHO）

食品安全・人畜共通感染症部長

イオン㈱アドバイザー

宮城島 一明

医師・医学博士・感染症対策コンサルタント

和田 耕治

歯科医師・医学博士

堀口 逸子

早稲田大学理工学術院創造理工学部教授

田辺 新一

1. 本プロトコルの目的

イオンは、「お客さま第一」を実践し、絶えず革新し続ける企業集団として地域のお客さまとともに地域社会の発展と生活文化の向上に貢献することを目指してまいりました。

これまで新型コロナウイルスの感染が流行している中で、イオンは、お客さまの安全を第一に考え、一時的な取組みにすることなく、地域のお客さまとともに本プロトコルを継続的に実行してまいりました。

今後は、防疫が生活の一部となる社会を実現することで、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の発展に寄与してまいります。

イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により防疫対策を実行します

イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します

イオンは、お客さまと一体となり防疫体制を構築します

イオンは、感染リスクを十分に検討し、現状のリスクに応じた対策を継続して実施します

これらの施策により、お客さまにご不便をおかけすることもございますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

2. 防疫が生活の一部となる社会の実現にむけて

国内では、2023年5月8日（月）新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同等の5類に見直されます。

イオンは、これまで新型コロナウイルス感染に対する「完全な予防策」が無い中、様々な防疫の取り組みを組み合わせて実行することで感染リスクの低減を図ってまいりました。

今後の防疫体制では、これまで蓄積したデータや専門家の知見をもとに、「イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル」の目的は変更することなく、感染の発生状況に対し最も適切な施策を選ぶことで地域のお客さまや従業員の感染リスクを低減し防疫が生活の一部となる社会の実現に努めてまいります。

3. 感染予防の守るべき施策について

(1) 体調の把握と管理

体調の把握と管理は、健康な日常生活を営む上で最も重要なポイントです。イオンは、これまで以上に従業員の体調の把握と管理を徹底します。また、お客さまについても体調が確認出来るよう非接触式体温計等の設置は継続して実施致します。

(2) 換気の徹底

空気の滞留を防ぐことは、飛沫やエアロゾルを介する感染を低減する効果があることから引き続きサーキュレーター等を設置することで空気の流れを作り換気を促進します。また、換気状況を確認するため二酸化炭素濃度計の設置も継続致します。

(換気促進を周知するため二酸化炭素濃度計(目標値 800ppm 以下)で定期的に計測します。)

(3) マスク等による感染リスクの低減

お客さまへの不織布マスク着用のお願いは、行いません。然しながら感染拡大時や混雑する場所では、不織布マスク着用をお願いをする場合がございます。

従業員には、マスク着用を求めません。なお、着用を希望する従業員の意向を排除するものでは、ありません。イオンは、未来に向けて笑顔でお客さまをお迎え出来るよう全従業員で防疫対策を実行してまいります。

4. 具体的取り組み

(1) 体調の把握と管理

<従業員の取り組み>

① 体調管理の徹底

毎日出勤前に体調管理チェックを実施します。

発熱、咳、のどの痛み、吐き気・嘔吐、呼吸が苦しい等に加え下痢のような感染症を疑う症状のある従業員は出勤しません。

② 従業員自ら積極的に新型コロナウイルスワクチンの接種を受けるよう努めます。

<お客さまへのご案内>

入口に検温が可能なよう非接触式体温計を設置しています。

(非接触式体温計の設置が無い店舗は、サービスカウンターで実施しています)

(2) 換気の徹底

<施設の取り組み>

① ショッピングセンター(S C)全体

イオンの施設の多くは、エアコンとは別に機械換気システムを備え一定の割合で施設内の空気が入れ替わるように外気を取り込んでいますが、空気の滞留を防ぐためサーキュレーター等で常に空気が流れる環境をつくります。

また、大型S Cでは、デジタルサイネージにて混雑度もお知らせします。混雑時には、出入口等にサーキュレーター等で空気の流れをつくります。

② フードコート・レストランゾーン

食事や会話を楽しむフードコート・レストランゾーンは、飛沫感染やエアロゾル感染のリスクを低減するため換気を促進する換気扇等を設置している他、高性能フィルターを完備した空気清浄設備を設置しています。

更に、サーキュレーター等で空気の流れをつくります。

(3) 手洗い・手指消毒・マスク等による感染リスクの低減

<従業員の取り組み>

- ① 接触感染防止のために必要な頻度で手洗いと手指の消毒を実施します。
- ② 従業員には、マスク着用を求めません。なお、着用を希望する従業員の意向を排除するものではありません。

<施設の取り組み>

- ① レジ周りやフードコート・イートインコーナーでは、空気溜りを作らない様アクリルボードの設置を見直します。
- ② お客様の手指消毒が可能なように、必要器材を入口に設置しています。
- ③ 従業員による拭き上げ清掃に加えお客様も拭き上げが可能ながようにかごやサッカ一台等にアルコールとペーパータオルを設置しています。
- ④ 手洗い設備の充実に努めます。

5. お客様へ感染防止策へのご協力をお願い

- (1) 入口に手指の消毒器材と検温が可能な非接触式体温計を設置しています。
(非接触式体温計の設置が無い店舗は、サービスカウンターで実施しています)
また、自動水栓の手洗い設備やエアータオル等も積極的にご利用ください。
- (2) 地域の感染状況により混雑する場所での不織布マスク着用をお願いする場合がございます。
- (3) お会計時の電子決済やセルフレジのご利用を推奨します。
- (4) 体調がすぐれない場合は、ご来店せずにご利用可能な宅配サービスをご利用になることをお勧めします。

6. 検証について

イオンは、新型コロナウイルス防疫プロトコルを地域のお客様と共有してまいります。

また、専門家による科学的根拠とデジタルの活用により、自社内の新型コロナウイルス対策の取り組みを継続的なモニタリングと検証を実施し、感染防止策をより実効性の高いものすることで「安全・安心」なショッピングセンターの構築に努めてまいります

以上